

第23期 株主通信

【2020年4月1日～2021年3月31日】

証券コード :3237



株主の皆様へ

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長に就任いたしましたディグネジオ フレドリックでございます。就任にあたりまして、皆様にご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界中へ感染が広がり、経済、ビジネス、そして個人の生活にも多大な影響を与え、また18ヶ月と長期化し、私たちの想像と願いを遥かに超えた、人生を変える程のパンデミックとなりました。終焉が見え始めたこのパンデミックを見据え、私たちのビジネスと日々の生活が一

日も早く通常の状態に戻ることを願ってやみません。

このような状況を共に乗り越えてきた私たちは、今後、テクノロジーと経験豊富な人材とを適切に組み合わせ、インターナショナルな視点とドメスティックな視点とを最適に融合させ、ホテルの投資と経営の機会を獲得し、他とは異なるプラットフォームを構築してまいります。そして、投資家やパートナーにホスピタリティ資産の管理における新たな選択肢を提供し、日本のマーケットに添ったホスピタリティ不動産市場における最良のパートナーとなるよう精進してまいります。

私は、ホテルの投資・経営のバックグラウンドを持っております。過去15年間の旅行業界のブームから学んだこと、そしてこの18ヶ月間の未曾有の状況の後で与えられた機会を活かし、株主やステークホルダーに長期的な持続的成長を提供することを使命とし、今後さらなる好機を迎える不動産業界にて、社業発展のため全力を尽くす所存でございますので、これまで同様、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 ディグネジオ フレドリック

決算ハイライト 2021年3月期の業績報告

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景として、国内外の投資家による物件取得意欲は引き続き高い状況にあり、堅調な推移を見せた一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、不確実性の高まりから意思決定に影響を及ぼし様子見る主体も多く、依然不透明な状況が続いております。

また、ホテル・商業施設におきましては、訪日外国人旅行者の渡航制限や、緊急事態宣言下における外出自粛要請の影響により、国内外の旅行需要は激減し深刻な打撃を受けました。緊急事態宣言解除後の、政府・行政による経済支援政策により、回復の兆しが見ら

れたものの、さらなる感染拡大により、依然先行きが不透明なまま推移しております。

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたくて販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス(物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス)及び賃貸事業や不動産賃貸・売買の仲介業務を行うソリューション事業並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデンでハーブガーデンの運営、卸売を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

2021年3月期
連結業績

売上高 1,175百万円

経常損失 965百万円

営業損失 775百万円

親会社株主に帰属する
当期純損失 993百万円

セグメント別概況

プリンシパルインベストメント事業

自己勘定による不動産購入及び売却

当連結会計年度において販売用不動産6件の売却を行いました。期初に売上計上を見込んでいた和歌山マリーナシティ(信託受益権)の売買契約について、新型コロナウイルス感染症の影響で契約解除となり、その後、売買契約を締結したものの決済・引渡は翌期に持ち越しとなったことが影響し、当初の予算を大きく下回る結果となりました。また、保有する販売用不動産について、162百万円のたな卸資産評価損を計上いたしました。

売上高 617百万円

営業損失 466百万円

ソリューション事業

不動産運営による賃料収入、不動産管理による管理収入、不動産仲介による手数料収入、コンサルティング、株式会社イントランスホテルズアンドリゾーツにおける宿泊施設等のオペレーション等

賃貸事業において和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入及び賃貸事業の賃料収入を計上し、新規の建物管理受託に引き続き取り組みました。

売上高 376百万円

営業損失 71百万円

その他事業

株式会社大多喜ハーブガーデンにおけるハーブガーデンの運営及びハーブ等の生産・販売

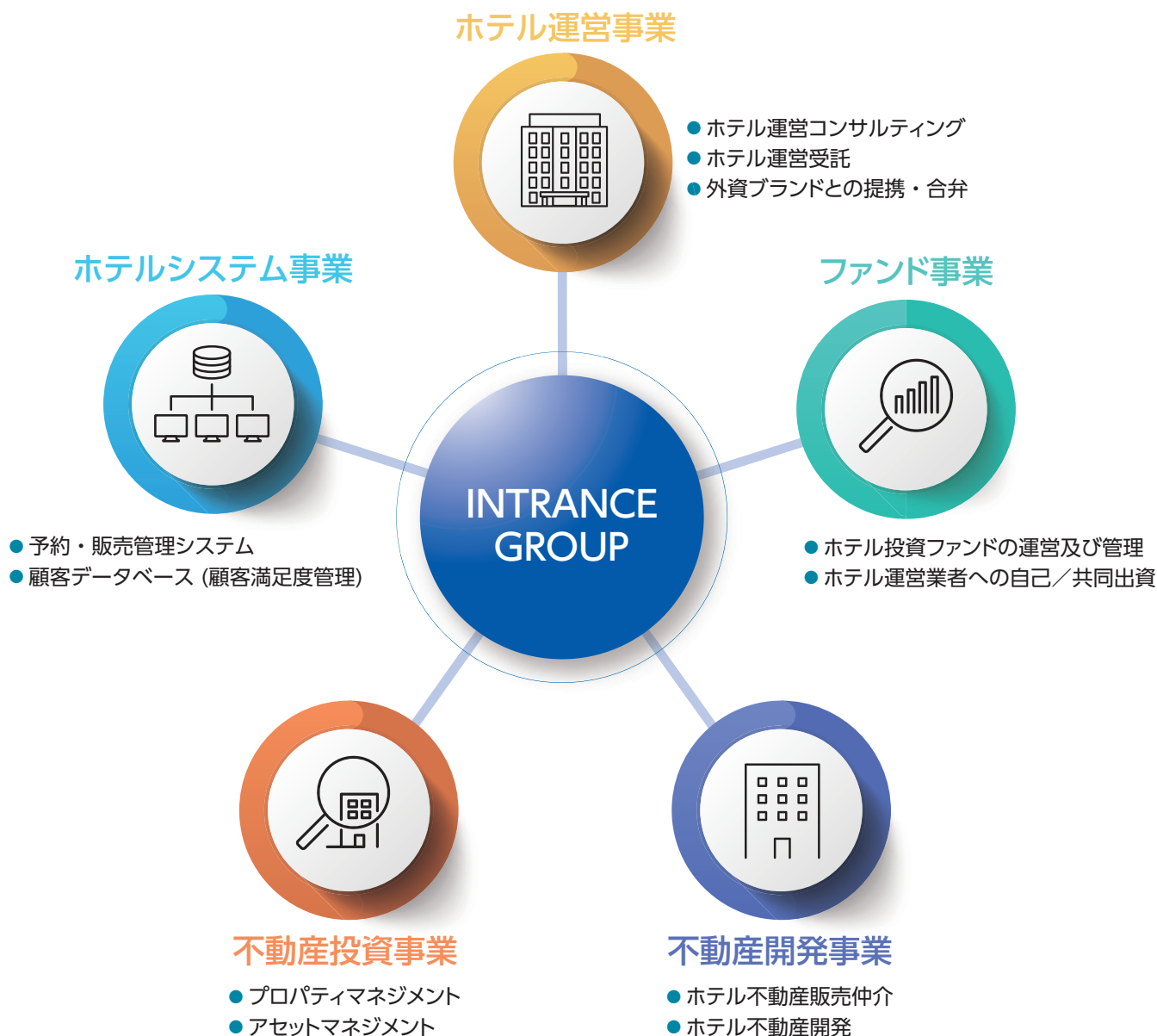
新型コロナウイルス感染症の影響で、一度は来園者数が大きく落ち込んだものの、SNS等を利用した広告戦略の奏功により総来園者数は前期並に回復し、売上高を大きく伸ばしました。生産卸売事業につきましては、緊急事態宣言下における飲食店の営業自粛や時短営業の影響から、外食向けの卸売りが低迷、巣籠り需要を受けた量販店向けの卸売りが伸長したものの、落ち込みはカバーできず、生産卸売事業全体としては苦戦いたしました。

売上高 181百万円

営業利益 18百万円

BUSINESS PLAN 2021

当社グループは、今後以下5つの事業に注力してまいります。中でも事業の主軸となるホテル運営事業を拡大させるため、受託案件の取得に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期を見計らいながら、当社グループ会社である瀛創(上海)商务咨询有限公司にて開発した日本ホテルのホールセールシステムと、中国の旅行予約管理システムとを連携させ、中国からの旅行者を日本のホテルに送客することにより、事業間のシナジー効果を最大化し、売上高増加と収益拡大を目指した経営を実践してまいります。



2022年3月期連結業績予想 (2021年5月20日公表)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,469百万円	270百万円	262百万円	205百万円

株式の状況・会社概要

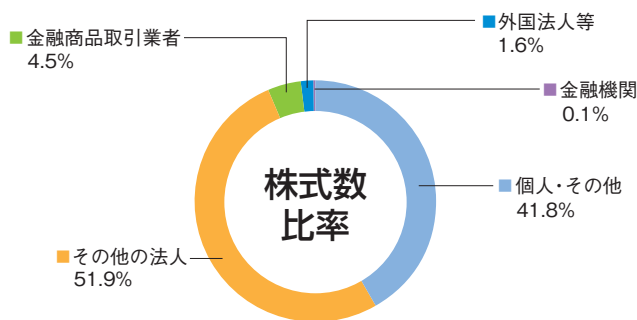
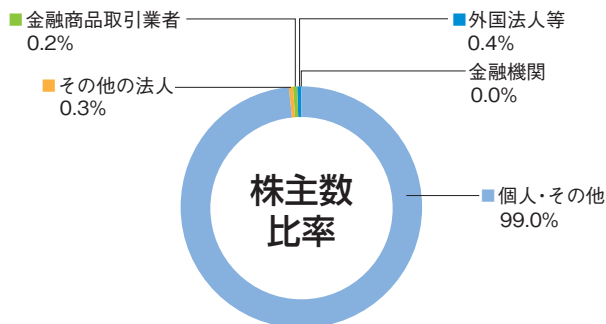
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	37,131,000株
株主数	9,020名

大株主の状況(上位10名) (2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
合同会社インバウンドインベストメント	18,256,000	49.25
柘津 聖一	795,700	2.15
株式会社SBI証券	581,500	1.57
株式会社エスネット	509,000	1.37
有限会社レアリア・インベストメント	446,300	1.20
上島 規男	350,000	0.94
INTERACTIVE BROKERS LLC	332,400	0.90
松井証券株式会社	311,500	0.84
関 浩子	290,000	0.78
楽天証券株式会社	258,100	0.70

株式分布状況



※「個人・その他」は自己株式を含んでおります。

会社概要 (2021年6月22日現在)

商号	株式会社イントランス
代表者	ディグネジオ フレドリック
設立	1998年5月1日
所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階
資本金	11億3,320万円
事業内容	プリンシパルインベストメント事業 ソリューション事業 その他事業
連結子会社	株式会社大多喜ハーブガーデン 株式会社イントランスホテルズアンドリゾート 瀛創(上海)商务咨询有限公司
宅地建物取引業者免許番号	東京都知事(1)第105555号
第二種金融商品取引業者登録番号	関東財務局長(金商)第1732号

役員 (2021年6月22日現在)

代表取締役社長	ディグネジオ フレドリック
取締役	何 同璽
取締役(社外)	日比野 健
取締役(社外)	清水 洋一郎
取締役(社外)	仇 非
常勤監査役	青沼 丈二
監査役(社外)	平田 邦夫
監査役(社外)	上床 竜司

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主名簿管理人 (同連絡先)	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	公告掲載URL http://www.intrance.jp/ir/public.html ただし、電子公告によることができない事故、その他やむをえない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

株式会社 イントランス

本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階
Tel. 03-6803-8100(代表)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

